

# 第63回全日本勤労者弓道選手権大会概要

(愛顔つなぐえひめ国体弓道競技リハーサル大会)

1 競技種目 近的競技

2 競技種類 団体競技 (1チーム3人立・2射場)

3 競技内容 的中制 (坐射・直径36cm霰的)

4 競技方法

- (1) 第一次予選は、1チーム12射 (各自4射1回) にて、7中以上を第二次予選進出とする。
- (2) 第二次予選は、1チーム12射 (各自4射1回) にて、的中数の上位16チームを決勝進出とする。
- (3) 決勝は、1チーム12射 (各自4射1回) のトーナメント法で行う。但し、3～5位の順位決定戦は、1チーム6射 (各自2射1回) の総射数法で行う。
- (4) 決勝進出決定・決勝トーナメントにおいて同中の場合は、1チーム3射 (各自1射) ずつの競射を行う。
- (5) 制限時間は、12射の場合は7分30秒以内。6射の場合は4分30秒以内とする。

5 表彰 優勝から5位までを表彰する。

6 参加資格

- (1) 同一の官公庁・会社に所属する者。但し、非常勤・嘱託を除く。
- (2) 監督・選手は、各地連から選抜又は推薦された代表チームとする。
- (3) チーム構成は、4人 [監督1人 (選手兼任も可)・選手3人] とする。
  - (ア) 監督・選手は、公益財団法人全日本弓道連盟ID番号を保有していること。
  - (イ) 監督・選手は、他チームとの二重登録はできない。
- (4) 参加チームの制限については、次のとおりとする。
  - (ア) 各地連は、2チーム以内。但し、北海道及び東京都は1チームの増枠を認める。
  - (イ) 前年度優勝チームは、上記(ア)に関係なく出場できる。